令和４年度

事　業　報　告　書

自　令和４年４月　１日
至　令和５年３月３１日

学校法人　福岡医療学院

1　法人の概要

（1）はじめに

かつて、中国、四国及び九州地方には、柔道整復師養成施設がありませんでした。したがって、この地域で柔道整復師を志す人々は、遠方まで行かなければ、専門の教育を受けられず、国家試験の受験資格を取得することは困難なことでした。そこで、この課題解消のため、平成 11 年、西日本で最初の柔道整復師養成施設として、本校の前身である「福岡柔道整復専門学校」が誕生しました。

翌年の平成 12 年に鍼灸科、平成 19 年には理学療法科を設置。平成 22 年に校名を「福岡医療専門学校」に変更しました。さらに、平成 23 年に、診療放射線科と看護科を、令和 5 年に歯科衛生科を新設し、西洋・東洋医学を両方学ぶことができる 6 学科体制が整いました。内 5 学科は、文部科学大臣から職業実践専門課程の認定を受け、医療機関などと連携を密にして、最新の実務の知識・技術を身につけられる教育課程を編成し、より実践的な職業教育を行っています。

これまで 24 年間の教育活動の結果、卒業生 5,749 名のうち 5,731 名が医療系免許を取得しております。これは卒業生の 99.7%の割合であり、全国トップレベルの国家試験合格率を誇ります。こうした実績を踏まえ、近年人気が高い診療放射線科の入学定員を 80 名に増員することにしました。

教育理念である「親が子に残せる唯一の財産は教育である」を、教職員一人ひとりが念頭に置きながら絶えず研究と修養に努めて、目標達成に向けて前進していきます。

（2）教育理念及び教育目標

○ 教育理念　　親が子に残せる唯一の財産は教育である。

○ 教育目標　　教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成することを目的とする。

（3）学校法人の沿革

平成 11 年 4 月　学校法人福岡柔道整復専門学校設立
平成 11 年 4 月　柔道整復科設置
平成 12 年 4 月　鍼灸科設置
平成 18 年 4 月　スポーツトレーナー科設置
平成 19 年 4 月　理学療法科設置
平成 20 年 4 月　福岡医療リハビリテーション専門学校　理学療法科設置
平成 21 年 3 月　スポーツトレーナー科廃止
平成 22 年 4 月　学校法人福岡柔道整復専門学校を学校法人福岡医療学院に名称変更
平成 22 年 4 月　福岡柔道整復専門学校と福岡医療リハビリテーション専門学校を統合して福岡医療門学校に名称変更
平成 23 年　4 月　診療放射線科・看護科設置
平成 26 年　3 月　柔道整復科・鍼灸科・理学療法科の職業実践専門課程認定
平成 27 年　2 月　診療放射線科・看護科の職業実践専門課程認定
平成 28 年　3 月　理学療法科第三者評価適格認定
平成 29 年　3 月　第三者評価適格認定

平成 31 年　1 月　看護科定員変更計画書を福岡県に提出
令和　2 年　4 月　看護科の入学定員を80名に増員
令和　4 年　2 月　歯科衛生科指定申請書を福岡県に提出
令和　4 年　3 月　理学療法科第三者評価適格認定
令和　4 年 11 月　歯科衛生士養成所の指定（令和5年4月1日から適用）
令和　5 年　1 月　診療放射線科定員変更計画書を福岡県に提出

（4）設置する学校の概要（令和 4 年 5 月 1 日現在）

名　称　　福岡医療専門学校
所在地　　〒814－0005 福岡市早良区祖原 3 番 1 号　　電話 092（833）6120
校　長　　藤瀬　武
教職員　　147 名（本務者 72 名、兼務者 68 名、職員 7 名）
学生数　　933 名

課程・学科等　　（令和 4 年度）

課程名	学科名	修業年限	入学定員	昼夜間の区別	学級数	総定員
医療専門課程	柔道整復科	3 年	60 名	昼（Ⅰ部）　60 名	2	180 名
医療専門課程	鍼灸科	3 年	60 名	昼（Ⅰ部）　60 名	2	180 名
医療専門課程	理学療法科	4 年	80 名	昼　80 名	2	320 名
医療専門課程	診療放射線科	3 年	50 名	昼　50 名	1	150 名
医療専門課程	看護科	3 年	80 名	昼　80 名	2	240 名

＊1　鍼灸科美容鍼灸・スポーツ鍼灸・スポーツトレーナー　募集人数　25 名
＊2　柔道整復科スポーツトレーナー　募集人数　25 名
＊3　理学療法科スポーツトレーナー　募集人数　25 名

（5）学納金

区　分	昼夜別	入学検定料（円）	入学金（円）	授業料（円）	施設費（円）
柔道整復科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
鍼灸科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
理学療法科	昼	20,000	200,000	500,000	400,000
診療放射線科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000
看護科	昼	20,000	200,000	800,000	400,000

（6）法人の概要（令和4年5月1日現在）

名　称　　学校法人　福岡医療学院

代　表　　理事長　藤瀬　武

所在地　　〒814－0005　福岡市早良区祖原3番1号　電話092（833）6120

理　事　　6名（定数6～7名）

理事長	藤瀬　武	理事	伊藤　幸男
理事	藤瀬　敏子	理事	平畑　雅博
理事	長門　俊一	理事	谷口　邦久

監　事　　2名（定数2名）

監事	堤田　智	監事	中山　信彦

評議員　　15名（定数13～15人）

評議員	長門　俊一	評議員	喜多村　伸明	評議員	坂口　文宏
評議員	市原　隆洋	評議員	加藤　健一	評議員	滝沢　裕子
評議員	永村　典子	評議員	牛尾　健介	評議員	石橋　大輔
評議員	藤瀬　武	評議員	藤瀬　敏子	評議員	田中　正己
評議員	風間　賢剛	評議員	松山　基博	評議員	竹下　政雄

２　事業の概要

福岡医療専門学校は、令和４年度の重点目標を以下のように定めて事業を行いました。

○ 教育活動

知識・技術・人間性を備えた医療人材を育成する。

○ 実践的な職業教育

医療機関などと連携し、最新の実務の知識などを身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育を行う。

○ 新学科設置に向けた取り組み

令和５年４月に歯科衛生科を新設する。

（１）教育活動

ア　国家試験の結果

令和４年度の国家試験合格率は、はり師が合格率 100％で全国第１位。看護師 98.5％、きゅう師 98.0％、診療放射線技師 97.7％、理学療法士 97.6％、柔道整復師 84.6％と全資格が全国平均を大きく上回り、昨年度を超える合格率を達成しました。コロナ禍においても、感染症対策を講じながら対面授業を継続したことが好結果に繋がりました。

○ 教育活動・学修成果　【令和４年度　国家試験結果】

はり師	49 名受験	49 名合格	合格率 100％	（全国平均 70.4％）
看護師	66 名受験	65 名合格	合格率 98.5％	（全国平均 90.8％）
きゅう師	49 名受験	48 名合格	合格率 98.0％	（全国平均 71.7％）
診療放射線技師	43 名受験	42 名合格	合格率 97.7％	（全国平均 87.0％）
理学療法士	42 名受験	41 名合格	合格率 97.6％	（全国平均 87.4％）
柔道整復師	39 名受験	33 名合格	合格率 84.6％	（全国平均 49.6％）

※　ＪＡＴＩ（日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者）

42 名受験 42 名合格　　合格率 100％

イ　教育活動

新型コロナウイルス感染症拡大の波を迎える時期がありましたが、感染予防対策を徹底することで、学級閉鎖をすることなく、ほとんどの授業を対面で行うことができました。スポーツ大会やボランティア活動などの課外活動も再開し、学生間の校友を深めることができました。しかしながら、本校教育の特徴である海外研修は実施できませんでしたので、再開に向けた協議を現地大学と進めています。

ウ　就職

令和４年度卒業生に対する求人倍率及び主な就職先は、次に示すように高い水準となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、求人倍率が一時的に減少したことがありましたが、その後は堅調に増加傾向に転じています。医療従事者の必要性や重要性がコロナ禍で見直されています。就職支援室を中心に、学生一人ひとりに合った就職希望先とのマッチングをサポートしました。

① 求人倍率（令和４年度卒業生）

理学療法科　96.6 倍
診療放射線科　15.1 倍
看護科　114.6 倍
柔道整復科　51.2 倍
鍼灸科　28.5 倍

② 主な就職先

学科	主な就職先
理学療法科	秋山クリニック、あさのひ整形外科クリニック、一ノ宮脳神経外科病院、岡部病院、おゆみの中央病院、香椎原病院、春日部中央総合病院、上山門整形外科クリニック、クリニックうしたに、さくむら整形外科リハビリクリニック、舌間整形外科、新吉塚病院、たかお整形外科、同仁病院、新座病院、虹の家、原土井病院、福岡みらい病院、福西会病院、平成横浜病院、まつもと整形外科クリニック、まなべ整形外科クリニック、南川整形外科病院、牟田病院、むらた整形外科、明理会中央総合病院、明理会東京大和病院、メディケア癒し今宿、米盛病院、リハビリテーション花の舎病院、令和リハビリテーション病院等
診療放射線科	朝倉医師会病院、あだち脳神経外科クリニック、安部整形外科クリニック、宇治武田病院、大阪はびきの医療センター、大隅鹿屋病院、亀田総合病院、菊南病院、霧島市立医師会医療センター、紀和病院、健愛記念病院、笹生病院、シミズ四条大宮クリニック、新武雄病院、聖隷浜松病院、セントヒル病院、総合健診センターヘルチェック、蘇生会総合病院、第二川﨑幸クリニック、田中整形外科医院、長崎県健康事業団、博多メディカルクリニック、福岡和白病院、ベルランド総合病院、防府消化器病センター、牧野記念病院、溝口外科整形外科病院、宗岡中央病院、安本病院、八代市医師会立病院、やました甲状腺病院、洛西シミズ病院、洛和会音羽病院、洛和会丸太町病院等
看護科	池上総合病院、おぐら病院、ガーデンヒルズウイメンズクリニック、秀和総合病院、新古賀病院、聖マリア病院、高木病院、戸田中央総合病院、新座志木中央総合病院、西福岡病院、のぞえ総合心療病院、白十字病院、阪和記念病院、福岡輝栄会病院、福岡記念病院、福岡徳洲会病院、福岡和仁会病院、福西会病院、マミィクリニック伊集院、水戸病院、牟田病院、村上華林堂病院、諸岡整形外科病院等
柔道整復科	伊都整骨院、介正鍼灸整骨院、きずな鍼灸整骨院、きよた整骨院、堺整骨院、相模が丘整形外科リハビリテーションクリニック、さくら Life はりきゅう接骨院、城南スポーツ整骨院・鍼灸マッサージ院、禅院整骨院、武雄ふるかわ整骨院、長与やわら鍼灸整骨院、なす整骨院、のりさだ整骨院、藤田整骨院、松山整骨院、みやざき鍼灸整骨院、みやざき整骨院、NAOSEL 西新整骨院等

鍼灸科	愛子整骨院、アミナス鍼灸 LABO、安徳鍼灸院、笑顔道鍼灸整骨院、甲斐整骨院、からだ元気治療院、からだコンディショニング ふくおか整骨院、くつろぎはりきゅう整骨院、康友堂鍼灸整骨院、堺整形外科医院、堺整骨院、堺はりきゅう整骨院、シームズ PLUS 整骨院、城南スポーツ整骨院、すみ整骨院、青芙堂、だいふく鍼灸整骨院、大龍江中国医学センター、田中はり灸療院、たんぽぽはりきゅう整骨院、のりさだ整骨院、はる鍼灸整骨院、ビファイン治療院、広島大学 漢方診療センター、藤崎駅前整骨院、別府はり灸整骨院、ほねつぎ府中はりきゅう接骨院、松山整骨院、みなみ福岡くろ川整骨院、Cerisier 銀座、Hybrid 鍼灸整骨院、iCure 鍼灸接骨院、KADOMORI 大阪サロン、NAORU 整体院、PEP 治療院、Personal gym period.等

（２）実践的な職業教育

医療機関などと連携し、最新の実務の知識などを身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育を行いました。教育課程については、教育課程編成委員会や次年度教育内容会議を通じ、外部の意見を取り入れて見直しを行いました。コロナ禍の影響により一部制限はありましたが、学外と連携した臨床実習等の職業教育を学内外で実施することができました。

（３）歯科衛生科設置に向けた取り組み

福岡県歯科医師会及び福岡県歯科衛生士会の協力を受け、歯科衛生科は令和4年11月9日付けで指定を受けることができました。令和5年4月から第一期生を迎えて、併設する理学療法科、診療放射線科、看護科、柔道整復科及び鍼灸科の教育用機器備品や施設を活用しながら、チーム医療に貢献できる質の高い歯科衛生士を養成し、国民の健康保持・増進に貢献していきます。

３　財務の概要

（１）経年比較

①　貸借対照表

（単位　円）

科目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
固定資産	6,105,602,901	6,201,805,373	6,384,359,006
流動資産	4,563,631,820	4,907,231,446	5,050,189,897
資産の部合計	10,669,234,721	11,109,036,819	11,434,548,903
固定負債	218,310,745	249,208,498	253,239,907
流動負債	1,083,120,468	1,116,361,371	1,023,568,136
負債の部合計	1,301,431,213	1,365,569,869	1,276,808,043
基本金	7,087,452,011	7,243,033,954	7,536,946,646
繰越収支差額	2,280,351,497	2,500,432,996	2,620,794,214
純資産の部合計	9,367,803,508	9,743,466,950	10,157,740,860
負債及び純資産の部合計	10,669,234,721	11,109,036,819	11,434,548,903

②　収支計算書

ア）資金収支計算書

（単位　円）

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 入 の 部			
学生生徒等納付金収入	1,364,900,315	1,270,808,415	1,363,996,000
手数料収入	16,400,200	16,063,720	18,238,900
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	19,105,000	21,484,000	28,763,000
資産売却収入	0	0	0
付随事業･収益事業収入	16,689,709	26,007,814	21,712,331
受取利息･配当金収入	80,824	42,946	40,524
雑収入	2,772,539	1,888,091	2,275,068
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	955,125,000	1,016,745,000	940,065,000
その他の収入	397,514,022	449,567,522	480,879,384
資金収入調整勘定	△ 1,007,485,000	△ 955,125,000	△ 1,016,745,000
前年度繰越支払資金	4,187,222,584	4,557,864,440	4,901,519,465
収入の部 合 計	5,952,325,193	6,405,346,948	6,740,744,672
支 出 の 部			
人件費支出	590,651,569	572,545,946	585,853,908
教育研究経費支出	324,757,406	206,555,744	267,435,273
管理経費支出	55,699,249	60,436,902	67,673,392
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	1,266,210	182,543,802	154,759,408
設備関係支出	16,012,317	3,853,869	123,552,156
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	458,508,685	496,439,635	529,923,116
資金支出調整勘定	△ 52,434,683	△ 18,548,415	△ 23,501,363
翌年度繰越支払資金	4,557,864,440	4,901,519,465	5,035,048,782
支出の部 合 計	5,952,325,193	6,405,346,948	6,740,744,672

イ）事業活動収支計算書

（単位　円）

科目			令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,364,900,315	1,270,808,415	1,363,996,000
		手数料	16,400,200	16,063,720	18,238,900
		寄付金	0	0	0
		経常費等補助金	19,105,000	21,484,000	28,763,000
		付随事業収入	16,689,709	26,007,814	21,712,331
		雑収入	2,772,539	1,888,091	2,275,068
		教育活動収入計	1,419,867,763	1,336,252,040	1,434,985,299
	事業活動支出の部	人件費	593,396,569	603,443,699	589,885,317
		教育研究経費	423,973,177	295,272,950	362,183,851
		管理経費	57,177,219	61,914,872	68,451,289
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,074,546,965	960,631,521	1,020,520,457
		教育活動収支差額	345,320,798	375,620,519	414,464,842
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息･配当金	80,824	42,946	40,524
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	80,824	42,946	40,524
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	80,824	42,946	40,524
		経常収支差額	345,401,622	375,663,465	414,505,366
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部	資産 処分 差額	1,301,563	23	231,456
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,301,563	23	231,456
		特別収支差額	△ 1,301,563	△ 23	△ 231,456

基本金組入前当年度収支差額	344,100,059	375,663,442	414,273,910
基本金組入額合計	△ 44,986,027	△ 155,581,943	△ 293,912,692
当年度収支差額	299,114,032	220,081,499	120,361,218
前年度繰越収支差額	1,981,237,465	2,280,351,497	2,500,432,996
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	2,280,351,497	2,500,432,996	2,620,794,214

以　上